

SAGA Energy Tourism

教育旅行向けパンフレット(モデルルート)

佐賀発の【エネルギーツーリズム】



SAGA Energy Tourism

SAGA Energy Tourism とは

参加した一人一人が
「エネルギーの未来を考えるきっかけづくり」と、
これに貢献する取り組みへと繋がっていくような
“新しい旅のカタチ”です。

佐賀県は“エネルギーを学びながら
“旅を楽しむ”という エナジーツーリズム を
数年前からスタートさせました。
エネルギー問題について現場を視察することで
より深く知り、考える場を提供する
ということを中心にした
ツーリズムプログラムを作成しています。

SAGA Energy Tourism の 3 つの魅力

1 多種多様なエネルギーについて学び、未来を考える！



太陽光や水素、風力、バイオマスなどの次世代エネルギーや【海洋温度差発電】【小水力発電】【地中熱】など、SAGA エナジーツーリズムならではの多種多様なエネルギーについて学べます。

2 ここでしか出来ない体験！



色々な体験をしながらエネルギーのことを学べたり、風力発電施設を身近で見れたり、SAGA エナジーツーリズムならではの体験が盛りだくさん！



3 他のコンテンツとの組み合わせで更に面白く！



佐賀県はエネルギー以外にも様々な体験コンテンツが豊富にあります。エナジーツーリズムと他のコンテンツの掛け合わせで、更に魅力ある教育旅行が可能になります。

モデル
ルート
8-9P

様々なエネルギーを学ぼう！

佐賀県には様々なエネルギーの関連施設があります。
あすぴあでは、エネルギーについて考えながら学ぶことができます。



03 玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ

“あすぴあ”では様々なエネルギーに関する“遊び”や“体験”を通して、一人ひとりが次世代のエネルギーについて考えることができます。近くには“九州のエネルギーについて大人から子どもまで色んな角度から学べるテーマパーク”玄海エネルギーパークもあります。

入館料	お問合せ	受け入れ人数	1団体【最大50名程度】	所要時間	約60分
※一部有料プログラム有					
所	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村 4560 番地 1			営	9:00~17:00
休	第3月曜日（祝日の場合は翌日）/ 年末年始（12/29~1/2）			入	無料

視察向け
モデル
ルート
あり

世界が注目！

海の温度差を利用した発電とは？

海の温度差を利用した発電とは、太陽からの熱エネルギーにより温められた表層の温かい海水（表層海水）と深層の冷たい海水（深層海水）との温度差を利用して発電を行う、再生可能エネルギーによる発電のひとつです。



13 佐賀大学海洋エネルギー研究所 伊万里サテライト

海洋エネルギー研究所は、海の温度差を用いた海洋温度差発電や、波の力や潮の満ち引きを利用した波力・潮流発電の研究開発が日々様々な研究者の方々によって行われています。
海洋国家である日本での海洋エネルギーの研究は非常に重要であり、本施設にはその研究を行うために様々な実験装置が設置され、佐賀大学内だけでなく、学外とも共同研究が行われています。
また、実験装置だけでなく、発電システム等を理解しやすい模型もあります。

見学科	お問合せ	受け入れ人数	1団体【最大50名程度】	所要時間	約90~120分
所	伊万里市山代町久原字平尾 1-48 営 お問合せ 休 お問合せ P 無料				

視察向け
モデル
ルート
あり

里山にさした希望の灯り 地域の水路を活かした「小水力発電」

「小水力発電」とは一般的に、出力が 1,000kW 以下の水力発電のことをいいます。ダムなどの大規模開発を伴わないので環境にやさしく、ある程度の流量と落差があれば発電できます。



26 松隈小水力発電所

松隈小水力発電所は佐賀県が構築した小水力発電事業モデル「佐賀モデル」の実証を行っています。
※松隈小水力発電所は地域住民が出資して「松隈地域づくり株式会社」を設立し、松隈小水力発電所の事業者となりました。

入館料	お問合せ	受け入れ人数	1団体【最大30名程度】	所要時間	約90~120分
所	吉野ヶ里町松隈地区 営 お問合せ 休 お問合せ P お問合せ				

モデル
ルート
10-11P

地面と太陽で冷暖房！？ SAGA サンライズパーク

日常も非日常も楽しめる新たな価値を創造するエリアを目指すこの施設では、地中熱等の未利用エネルギーの有効性や可能性を学べます。



24 SAGA サンライズパーク

『SAGAサンライズパーク』は新時代のエンターテインメント施設「SAGA アリーナ」、トップクラスの大会も開催できる国際基準のプール「SAGAアクア」など、最新鋭の設備を備えた施設に加え、ウッドデッキのオープンテラスに、カフェやショップが入るくつろぎ空間「パークテラス」など、日常からそれぞれのスタイルで楽しめる心地よい空間になっています。
そして、このサンライズパークには地中熱や井水熱、太陽エネルギー利用施設などを再生可能エネルギー機器を導入し、環境にも配慮した施設になっています。模型や動画、そして実際機械を見学することによって、どのようなエネルギーが使用されているかを勉強することができます。

入館料	お問合せ	受け入れ人数	1団体【最大30名程度】	所要時間	約60~90分
所	佐賀県佐賀市日の出 2-1-10 営 平日 9:00~23:00 / 土日祝 9:00~21:00 / 12/29,1/2-3 10:00~16:00 休 第4火曜日（祝日の場合はその翌日）/ 年末年始（12/30~1/1） P お問合せ				

SAGAサンライズパークの見学受け入れは、2024年冬以降を予定しております。

※視察向けモデルルートは、企業の視察向けに作成したモデルルートですが、教育版に応用も可能です。ご興味ある方は、下記までお問い合わせください。

施設見学の予約などお問合せはコチラ

SAGA Energy Tourism

一般社団法人佐賀エネルギー・ツーリズム推進協議会

〒847-0303
佐賀県唐津市
呼子町呼子3646-6

TEL 0955-82-2811
(NPO法人唐津・玄海観光交流社内)
MAIL contact@saga-et.com
HP https://saga-et.com/



エネルギーの歴史①

日本の歴史とエネルギー

日本におけるエネルギー利用の歴史について簡単にご紹介します。

- 旧石器～縄文時代の日本では、太陽光など自然のエネルギーをそのまま利用していました。弥生時代になり、稲作が盛んになると、自然からエネルギー資源を効率的に得られるようになっていきます。
- 平安時代には、主に人力を使って土木工事を行い、農耕では牛馬を用いるなど、エネルギーを取り出すための技術が発展しました。
- 戦国時代になると、人々が行き交う市場経済が広がり始めます。そのエネルギー資源は、燃料となる木材、水力や風力（帆船の動力）など、今でいう「再生可能エネルギー」によってまかなわれていました。
- 江戸時代に入るとエネルギー消費が拡大していき、田畑や森林の再生が消費量に追い付かなくなり、エネルギー資源は限界に達します。この頃から、森林の伐採を禁止したり、大規模な植林が行われるようになり、森林資源の管理が始まりました。
- 幕末からは、蒸気や電気といった新しいエネルギー技術が普及し始め、各地に工場が建設されていきました。ここでのエネルギーは当初水力でまかかっていましたが、次第に蒸気に移行し、それに伴い化石燃料である石炭の利用が進みました。

ここから、みなさんがよく知る電気や石油といったエネルギーの利用が始まるのです。

現代につながるエネルギー史

近代のエネルギー利用の歴史を簡単におさらいします。

- 1868年～1900年頃、明治維新以降、それまでの薪炭から石炭の利用が本格化し、国内の石油開発が始まります。
- 1900年頃から1950年頃にかけて、日本は二度の世界大戦を経験し、大規模発電所や工場の電化等により電気市場が拡大します。
- 1960年頃から、戦後の復興により高度経済成長を支える電気市場が成長し、石油需要が増大します。
- 1970年・80年代にかけて資源エネルギー庁設置の契機となった2度の石油危機を経験し、石油のみに依存した状態からの脱却を目指し、①省エネの促進、②石油備蓄拡大、③天然ガスや原子力の導入を推進されていきます。
- 1990年代には電力、ガスの自由化が段階的にはじまるとともに、京都議定書により低炭素という環境価値や再エネ導入が注目されはじめ、電力等の自由化と地球温暖化の2つの課題に向けた取り組みが始まります。
- そして、最大の供給危機に直面し、3E（エネルギーの安定供給、経済効率性の向上、環境への適合）に加え安全性の重要性を再認識した2011年の東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故が起きました。

それぞれの歴史の中で様々なエネルギー資源が用いられ、時代と共に需要が移り変わっていったのです。

佐賀エナジーツーリズムでは、皆さんがよく知る電気や石油といったわかりやすいエネルギーを利用した施設をはじめ、「吉野ヶ里遺跡」といった縄文時代のエネルギー利用について学べる場所から、最先端の海洋エネルギーを研究する施設まで、エネルギーに関する学びが得られる幅広いスポットを通して、エネルギー利用に関する学びをご提案しています。

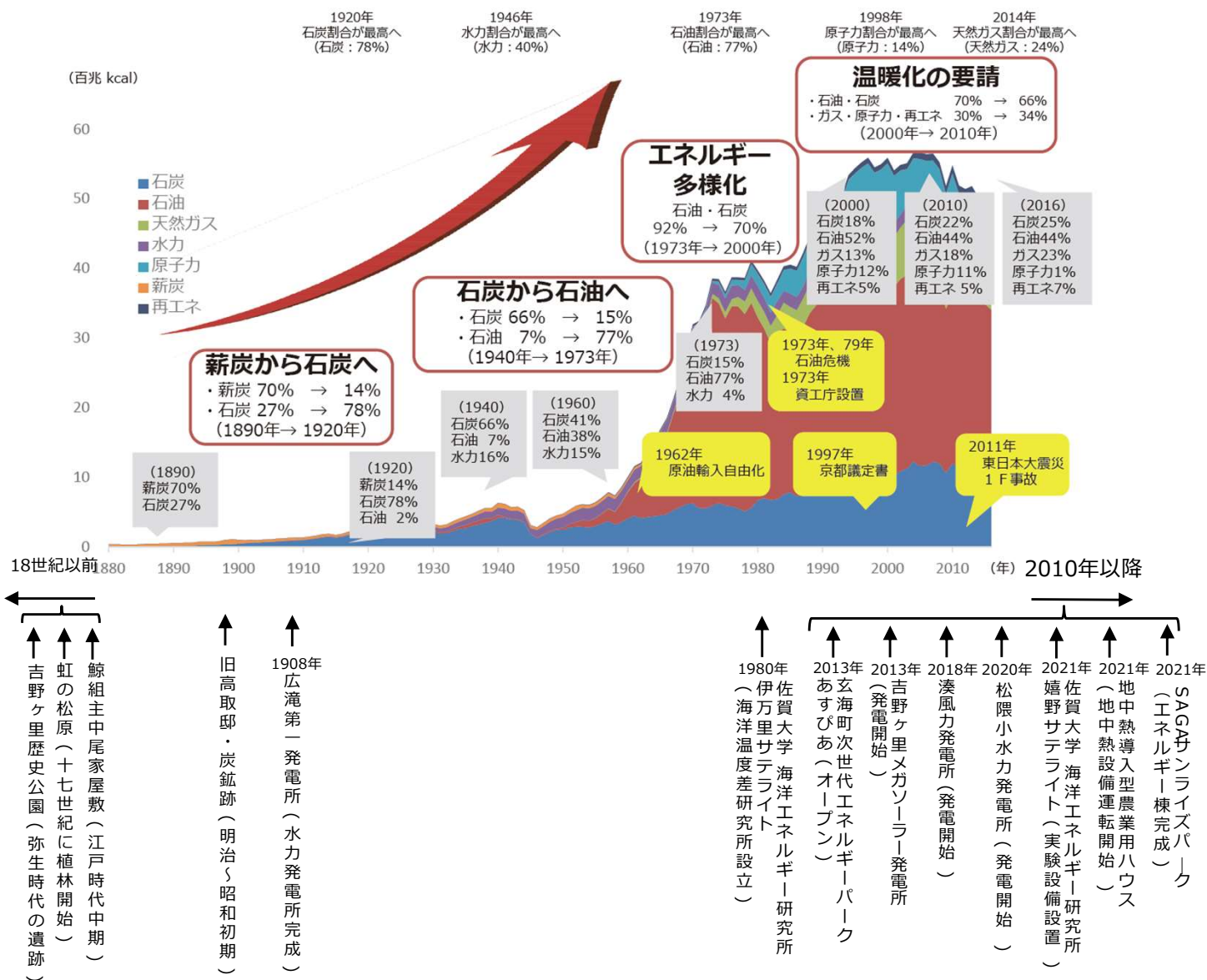
参照：経済産業省 資源エネルギー庁HP



エネルギーの歴史②

エネルギー史と需要の変化を佐賀県の各スポットで追ってみよう

資源エネルギー庁作成「一次エネルギー供給量の推移と需給構造の変化」



● スポット一覧 ●



吉野ヶ里歴史公園 (神崎市・吉野ヶ里町)



虹の松原 (唐津市)



鯨組主中尾家屋敷 (唐津市)



旧高取邸 (唐津市)



炭鉱跡 (唐津市他)



佐賀大学海洋エネルギー研究所・伊万里サテライト (伊万里市)



地中熱導入型農業用ハウス (唐津市)



吉野ヶ里メガソーラー発電所 てるてるの森 (神崎市)



松隈小水力発電所 (吉野ヶ里町)



湊風力発電所 (唐津市)



あすびあ (玄海町)



佐賀大学海洋エネルギー研究所・嬉野サテライト (嬉野市)

SAGA Energy Tourism

関連施設 & お立ち寄りスポット MAP



唐津・玄海エリア

- 01 炭鉱跡 (旧杵島炭鉱大鶴鉱業所第二坑口)
- 02 浜野浦の棚田
- 03 玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ
- 04 玄海エネルギーパーク
- 05 名護屋城跡
- 06 鯨組主中尾家屋敷
- 07 セツ釜
- 08 湊風力発電所
- 09 旧高取邸
- 10 虹の松原
- 11 鏡山展望台
- 12 地中熱導入型農業用ハウス

佐賀エリア

- 22 洞鳴の滝ふれあい館
- 23 有明未利用熱利用促進研究会
- 24 SAGA サンライズパーク
- 25 ひがさす(地中熱)

吉野ヶ里エリア

- 26 松隈小水力発電所
- 27 吉野ヶ里メガソーラー発電所
- 28 吉野ヶ里歴史公園
- 29 広滝第一発電所(水力)
- 30 アドベンチャーバレーSAGA

風が強い唐津市になぜ虹の松原が生まれたのか？ 唐津市との暮らしとエネルギーの関係とは？

エネルギー

歴史

観光

食



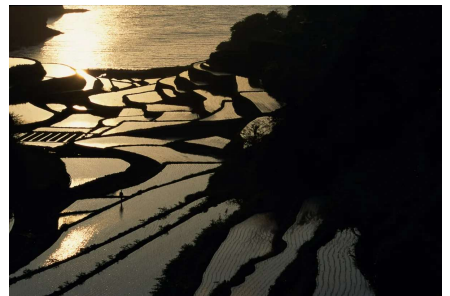
1泊2日
モデルルート①

1日目	集合時間	集合場所	
		移動	
	9:00	福岡空港	I
		移動 約60分	
	10:00~11:30	虹の松原 松葉かき体験 (座学45分・松葉かき45分)	B
		移動 約30分	
	12:00~14:00	あすぴあにて昼食 (松葉を使用した佐賀牛BBQ)	C
		片付け等	
	14:30~16:00	あすぴあ見学	C
		移動 約10分	
16:15~16:45	浜野浦の棚田見学	D	
	移動 約15分		
17:00	波戸岬にて宿泊	E	

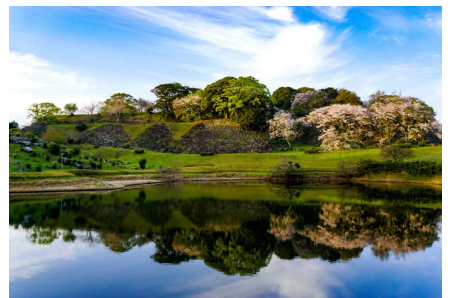
メモ

移動時間、所要時間は目安です

2日目	9:00	出発	
		移動 約10分	
	9:15~10:15	名護屋城跡 見学	F
		移動 約10分	
	10:30~11:45	鯨組主 中尾家屋敷見学	G
		移動等	
	12:00~13:00	呼子町にて昼食	
		移動 約20分	
	13:30~14:30	湊風力発電所	H
		移動 約90分	
16:00	福岡空港・福岡市内着	I	
	移動時間		
解散時間	解散場所		

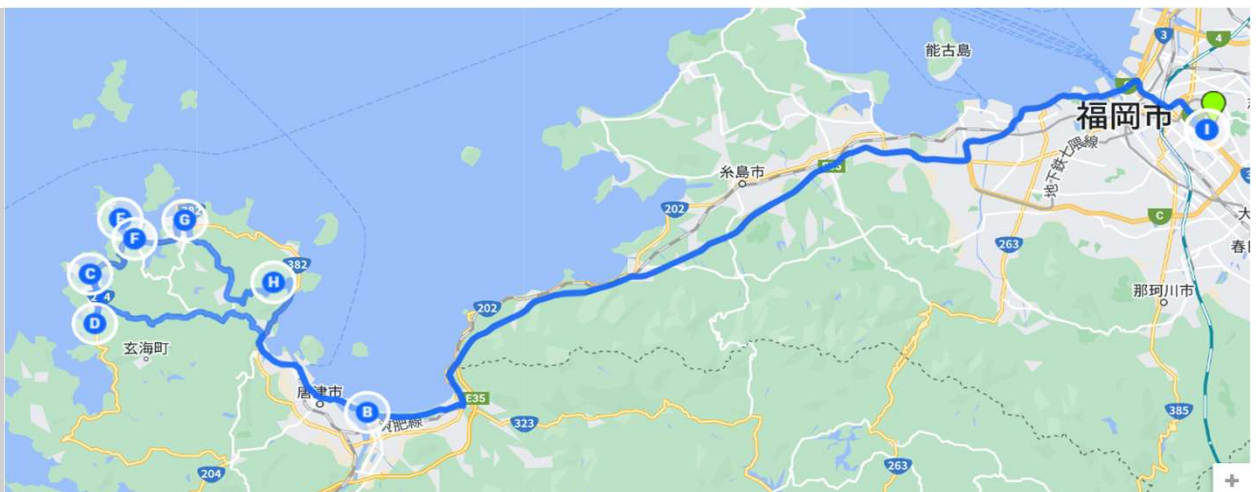


浜野浦の棚田



名護屋城跡

ルート
MAP



メイン見学施設

- 問合せ先 一般社団法人 佐賀エナジーツーリズム推進協議会
- 電話番号 0955-82-2811 (NPO法人唐津・玄海観光交流社内)

モデルルートのポイント

- ①虹ノ松原誕生秘話から現代まで虹ノ松原がきれいに保たれてきた理由を、エネルギーの観点から学ぶ。
- ②過去に煮炊きの燃料として使われてきた「松葉」を実際に集めてみる！
- ③玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ、中尾家屋敷、湊風力発電所 を見学。
エネルギーの歴史や暮らしとの関りについて学びます。

虹の松原（松葉かき体験）



17世紀初め、初代唐津藩主・寺沢広高が、風が強く海も近い唐津地域に新田を作るために、防風・防砂・防潮を行うため植林されたのが虹の松原の始まりです。そこから約400年、地域の方々の生活を守りながら、日本の三大松原のひとつに数えられ「国の特別名勝」に指定される、特別な松原となりました。虹の松原は、白砂青松という白い砂と青々とした松により形成される、美しい風景が大きな特徴です。この美しい景観は、様々な方々の手によって、守られてきました。その活動をぜひ体験等を通じて学んでみてください。

▶ 虹の松原(松葉かき体験)DATA

住所	佐賀県唐津市東唐津～浜玉町（虹の松原）
営業時間	9:00～18:00
定休日	土日・祝日
料金	1,500円（税込）/人
受入れ人数	2人～45人/回 ※45人以上は要相談
駐車場	有り オニキス前駐車場
アクセス	JR唐津駅より車で約15分 (bodymakeONIX 虹松店前駐車場)に集合
松葉かき所要時間	座学45分、松葉かき45分程度 ※雨天時は座学のみを室内で行います。

玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ



“あすぴあ”という名称は、アース(地球)とユートピア(理想郷)のピアをつなげたもので「地球のエネルギーに関わることを体験・学習できる、次世代の理想や夢につながる施設」という意味を含んでいます。ここでは様々なエネルギーに関する“遊び”や“体験”を通して、一人ひとりが次世代のエネルギーについて考えることができます。近くには九州のエネルギーがぎゅっと詰まったテーマパーク“玄海エネルギーパーク”もあります。

▶ 玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ DATA

住所	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村 4560 番地 1
営業時間	9:00～17:00
定休日	第3月曜日(祝日の場合は翌日)/年末年始(12/29～1/2)
料金	無料（一部有料プログラム有）
受入れ人数	1団体【最大50名程度】
駐車場	あり
アクセス	JR 西唐津駅より車で約 30 分 昭和バス「唐津大手口」より呼子・小加倉線乗車、 玄海エネルギーパーク下車(約 40 分)
所要時間	約 60 分

鯨組主中尾家屋敷



江戸時代中期から、8代・170年にわたって呼子を拠点に捕鯨で巨万の富を築き、呼子の発展に多大な影響を残した中尾家の屋敷。江戸時代の呼子沖合での捕鯨の様子を描いた「小川島鯨戦合戦」にも描かれている、築250～270年の町屋建築は必見です。建物内では捕鯨の歴史も学べます。

▶ 鯨組主 中尾家屋敷 DATA

住所	佐賀県唐津市呼子町呼子3750-3
営業時間	8:45～17:00(入館は16:30まで)
定休日	水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日) 年末年始(12/29～1/3)
料金	一般210円、小・中学生100円 ※団体割引20名様以上2割引
受入れ人数	45名程度/回 (要相談)
駐車場	近くに有料駐車場あり
アクセス	JR唐津駅から車で約30分 昭和バス呼子バスのりはより徒歩約5分
所要時間	約30分～45分

湊風力発電所



唐津市は風況に恵まれています。もともとは農地だった場所に“湊風力発電所”は建設され、この風車の売電収益の一部を地域農業の保全等の支援に還元する形で、地域貢献を果たしています。湊風力発電所は風車の真下まで行くことが可能です。風車を間近で見る迫力や、回っている様子を見て、「この風で電気を作っているんだ」と、肌で感じるすることができます。

▶ 湊風力発電所 DATA

住所	佐賀県唐津市湊町
営業時間	平日 10:00～17:00
定休日	土日祝祭日・年末年始
料金	無料
受入れ人数	20名程度/回 ※20名以上の場合は要相談
駐車場	なし ※近隣道路に停める際は通行の妨げにならないようご注意ください
アクセス	JR唐津駅から車で約30分
所要時間	約45分前後

1日目	9:00	福岡空港	H
		約50分	
	10:00~11:00	SAGAサンライズパーク	B
		移動	
	11:30~12:30	ひがさす	C
		移動	
	12:50~13:45	昼食	
		移動 約30分	
	14:00~15:00	有明未利用熱利用促進研究会	D
	移動		
	15:30	佐賀市内にて宿泊	



メモ

移動時間、所要時間は目安です

2日目	9:30	出発	
		移動 約30分	
	10:00~11:00	吉野ヶ里歴史公園	E
		移動 約10分	
	11:10~12:00	吉野ヶ里メガソーラー発電所	F
		移動	
	12:15~13:00	昼食	
		移動	
	13:15~15:00	フォレストアドベンチャー吉野ヶ里	G
	移動 約45分		
	15:45	福岡空港・福岡市内着	H

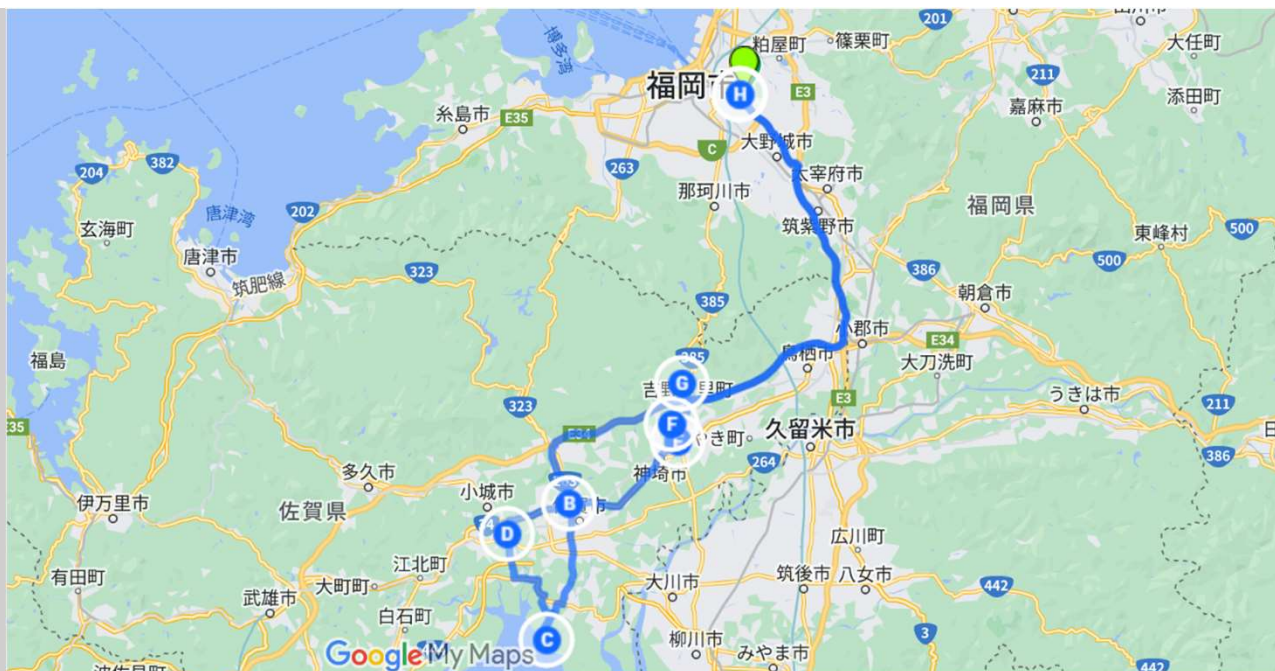


吉野ヶ里歴史公園



フォレストアドベンチャー吉野ヶ里

ルートMAP



メイン見学施設

- 問合せ先 一般社団法人 佐賀エナジーツーリズム推進協議会
- 電話番号 0955-82-2811 (NPO法人唐津・玄海観光交流社内)

モデルルートのポイント

- ①地中熱を活用した空調を採用している「SAGAサンライズパーク」や「ひがさす」を見学。
- ②これらの見学を通じて身近なところに潜んでいるエネルギーを考える。
- ③事後学習を兼ねて、「有明未利用熱利用促進研究会」にて座学。
- ④吉野ヶ里地域にて、現在の太陽光や古代の生活などを学ぶ。

SAGAサンライズパーク



『SAGAサンライズパーク』は新時代のエンターテインメント施設「SAGAアリーナ」、トップクラスの大会も開催できる国際基準のプール「SAGAアクア」など、最新鋭の設備を備えた施設に加え、ウッドデッキのオープンテラスに、カフェやショップが入るくつろぎ空間「パークテラス」など、日常からそれぞれのスタイルで楽しめる心地よい空間になっています。そして、このサンライズパークには地中熱や井水熱、太陽エネルギー利用施設などを再生可能エネルギー機器を導入し、環境にも配慮した施設になっています。模型や動画、そして実際機械を見学することによって、どのようなエネルギーが使用されているかを勉強することができます。

▶ SAGAサンライズパーク DATA

住所	佐賀県佐賀市日出2-1-10
営業時間	平日 10:00 ~ 17:00 ※施設の営業時間は3P参照
定休日	土日祝祭日・年末年始 ※施設のお休みは3P参照
料金	お問合せ
受入れ人数	1団体、最大30名程度
駐車場	お問合せ
アクセス	JR佐賀駅から車で約5分
所要時間	1時間~1時間30分

SAGAサンライズパークの見学受け入れは、2024年冬以降を予定しております。

東よか干潟ビジターセンター ひがさす



東よか干潟の自然環境と生物多様性を保全し、その価値や魅力の発信を目的として、観光・学習・交流など様々な活動拠点として設置した施設です。ここでは地球環境にやさしい地中熱エネルギーを空調に利用しています。常時20度程度の温度を保つ地中熱は、地表と比べて夏は涼しく冬は暖かいため、再生エネルギーとして利用することができます。この設備を学習に役立てるため、運転状況や節電効果をモニターに表示しています。また、パイプなどの外部の設備も見学できるように整備しています。

▶ ひがさす DATA

住所	佐賀県佐賀市東与賀町大字田中 2757-4 干潟よか公園西
営業時間	9:00 ~ 17:00
定休日	月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
料金	無料
受入れ人数	200名~300名程度
駐車場	あり ※干潟よか公園駐車場
アクセス	佐賀駅から車で30分、九州佐賀国際空港から車で10分
所要時間	30分 ~ 1時間

有明未利用熱利用促進研究会



有明未利用熱利用促進研究会は佐賀大学をはじめ、佐賀県内を中心とした建設関連会社、メーカー、大学、銀行、NPO法人等が加入しており、佐賀県内をはじめ、主に九州内での未利用熱の普及啓発活動や研究開発、導入工事等を行っています。佐賀県内に限らず様々な地域での未利用熱の導入計画から施工まで研究会でおこなっており、未利用熱の普及拡大に情熱を注いでいる研究会です。

▶ 有明未利用熱利用促進研究会 DATA

住所	佐賀県佐賀市久保田町大字徳万 1856 番地1
営業時間	9:00 ~ 17:00
定休日	土日祝祭日・年末年始・GW
料金	無料
受入れ人数	10名程度
駐車場	あり
アクセス	佐賀駅から車で15分、九州佐賀国際空港から車で約25分
所要時間	1時間程度

吉野ヶ里メガソーラー発電所 てるてるの森



吉野ヶ里地域との共生をはかり、太陽光発電を身近に体感し、学ぶことのできる、再生可能エネルギー普及と地域発展のシンボルとなる施設です。約54,000枚の太陽電池パネルが並び、年間発電量は13,800MWh(一般家庭約3,800世帯分)です。また、停電時におけるライフスポットやEV充電器への電力供給など、地域エネルギーセーフティーネットとしての役割も果たしています。吉野ヶ里遺跡の近くにあり、周囲の景観や埋蔵文化財に配慮した設計となっています。

▶ 吉野ヶ里メガソーラー発電所 てるてるの森 DATA

住所	佐賀県神埼市神埼町志波屋
営業時間	10:00 ~ 17:00
定休日	土曜日、祝祭日(施設点検日および年末年始)
料金	通常無料
受入れ人数	約40名(情報館の収容人数)
駐車場	有
アクセス	JR神埼駅または、JR吉野ヶ里歴史公園駅より車で約10分
所要時間	45分程度

1泊2日

モデルルート③

唐津・玄海地域にて多種多様なエネルギーを学ぶ

エネルギー

観光

歴史

1日目	集合時間	集合場所	
		移動	
	10:00	福岡空港	G
		移動 約90分	
	11:30~12:00	浜野浦の棚田	B
		移動 約10分	
	12:10~13:30	中山牧場直売所にて佐賀牛BBQ	C
		移動 約5分	
	13:35~14:30	玄海エネルギーパーク	D
		移動 約5分	
	14:35~16:00	玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ	D
		移動 約20分	
16:30	呼子周辺にて宿泊	E	

移動時間、所要時間は目安です

2日目	9:00	出発	
		移動 約15分	
	9:15~10:15	呼子 朝市	E
		移動 約5分	
	10:30~11:30	七ツ釜	E
		移動 約15分	
	11:45~12:45	呼子市内 昼食	E
		移動 約20分	
	13:10~14:10	湊風力発電所	F
		移動 約90分	
	15:40	福岡空港・福岡市内着	G
		移動時間	
解散時間	解散場所		



メモ

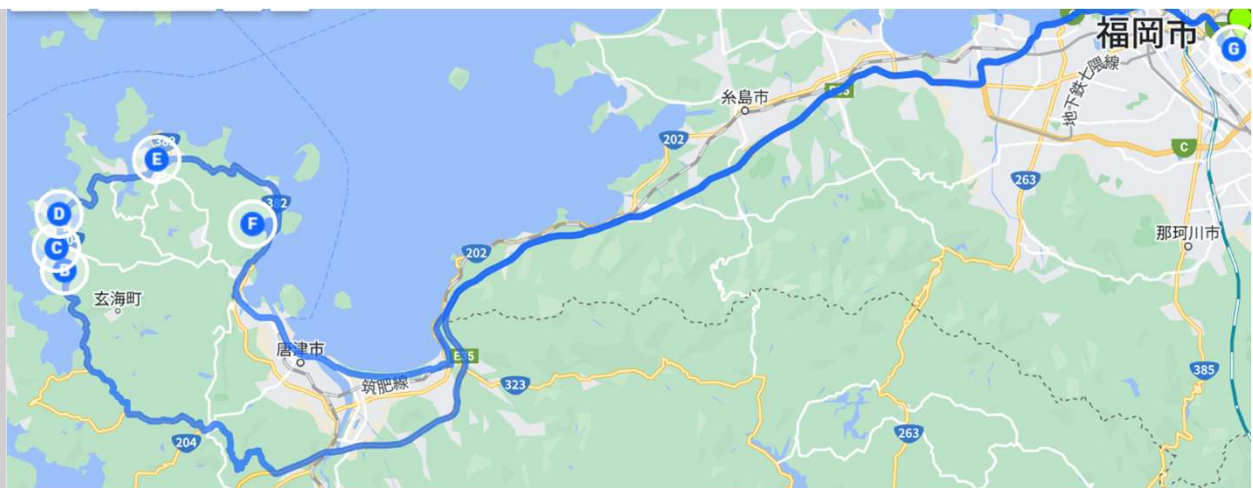


呼子 朝市



七ツ釜

ルートMAP



メインスポット

- 問合せ先 一般社団法人 佐賀エナジーツーリズム推進協議会
- 電話番号 0955-82-2811 (NPO法人唐津・玄海観光交流社内)

モデルルートのポイント

- ①唐津・玄海地域に存在する様々なエネルギー関連施設を見学。
- ②これらの見学や体験を通して、自分たちが使っているエネルギーについて考える。
- ③唐津・玄海地域の特産でもある佐賀牛のBBQや、バーガー作り体験などを楽しむ。
- ④呼子の朝市や七ツ釜など、唐津・玄海地域の観光名所も堪能していく。

玄海エネルギーパーク



美しい海と豊かな自然環境に囲まれた玄海原子力発電所。発電所に隣接する「玄海エネルギーパーク」は遊んで学べるテーマパークです。外観が印象的な「玄海PRセンター」には、エネルギーについて学べる「サイエンス館」、九州の伝統工芸・祭りについて学べる「九州ふるさと館」があります。また敷地内には、「太陽の広場」や「観賞用温室」などもあり、四季折々の自然を感じながら遊べます。

▶ 玄海エネルギーパーク DATA

住所	佐賀県東松浦郡玄海町今村字浅湖4112-1
営業時間	9:00~17:00
定休日	毎月第3月曜日(第3月曜日が祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月2日)
料金	無料
受入れ人数	制限なし
駐車場	有
アクセス	福岡前原道路「前原東IC」から車で約1時間10分 昭和バス唐津「大手口バスセンター」発、玄海原子力発電所行乗車「玄海エネルギーパーク」下車(約40分)
所要時間	約1時間~2時間

玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ



“あすぴあ”という名称は、アース(地球)とユートピア(理想郷)のピアをつなげたもので「地球のエネルギーに関わることを体験・学習できる、次世代の理想や夢につながる施設」という意味を込めています。ここでは様々なエネルギーに関する“遊び”や“体験”を通して、一人ひとりが次世代のエネルギーについて考えることができます。近くには九州のエネルギーがぎっしり詰まったテーマパーク“玄海エネルギーパーク”もあります。

▶ 玄海町次世代エネルギーパーク あすぴあ DATA

住所	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村 4560 番地 1
営業時間	9:00 ~ 17:00
定休日	第 3 月曜日(祝日の場合は翌日)/ 年末年始(12/29 ~ 1/2)
料金	無料(一部有料プログラム有)
受入れ人数	1団体【最大50名程度】
駐車場	あり
アクセス	JR 西唐津駅より車で約 30 分 昭和バス「唐津大手口」より呼子・小加倉線乗車、 玄海エネルギーパーク下車(約 40 分)
所要時間	約 60分

中山牧場直売所 佐賀牛 BBQ&マイバーガー作り



唐津・玄海地域は黒毛和牛の飼育頭数が佐賀県全体の約5割を占め、「佐賀牛」の主要産地です。中山牧場直営のレストランでは、直売の牛肉でバーベキューや焼肉が楽しめます。また修学旅行生や団体様向けの「マイバーガー作り」も人気です。中山牧場自慢の黒毛和牛100%のパテに、地元で評判のパン屋さんのパンズをご用意。炭火焼パテに新鮮な野菜やチーズをトッピング! 唯一無二の美味さは格別です!!!

▶ 中山牧場直売所 DATA

住所	佐賀県東松浦郡東松浦郡玄海町普恩寺 9 1 2 - 1
営業時間	9:00 ~ 18:00
定休日	月曜日・年末年始・お盆
料金	焼肉BBQセット2,000円/人~ マイバーガー作り1set 800円~ ※BBQは牛肉以外の持ち込みはOK
受入れ人数	レストラン: 35~40名/屋外: 100名以上
駐車場	あり
アクセス	福岡から都市高速・西九州自動車道、二丈浜玉有料道路利用で約90分
所要時間	90分程度

湊風力発電所



唐津市は風況に恵まれています。もともとは農地だった場所に“湊風力発電所”は建設され、この風車の売電収益の一部を地域農業の保全等の支援に還元する形で、地域貢献を果たしています。湊風力発電所は風車の真下まで行くことが可能です。風車を間近で見る迫力や、回っている様子を見て、「この風で電気を作っているんだ」と、肌で感じることができます。

▶ 湊風力発電所 DATA

住所	佐賀県唐津市湊町
営業時間	平日 10:00 ~ 17:00
定休日	土日祝祭日・年末年始
料金	無料
受入れ人数	20名程度/回 ※20名以上の場合は要相談
駐車場	なし ※近隣道路に停める際は通行の妨げにならないようご注意ください
アクセス	JR 唐津駅から車で約 30 分
所要時間	約45分前後



魅力溢れる

SAGA Energy Tourism

公式HPはこちら





佐賀県の魅力満載



佐賀県公式観光サイトはこちら



佐賀県 への アクセス

佐賀市 方面

東京羽田空港	飛行機	約1時間50分	佐賀空港
東京成田空港	飛行機	約2時間	佐賀空港
福岡空港	高速バス	約1時間15分	佐賀駅 バスセンター
博多駅	JR (特急利用)	約40分	佐賀駅
長崎駅	JR (新幹線・特急利用)	約1時間	佐賀駅

唐津・玄海 方面

佐賀空港	車 (一般道)	約1時間30分	唐津市内
	アクセスバス	約35分	佐賀駅 バスセンター
博多駅	地下鉄・JR	約1時間20分	唐津駅
	地下鉄・JR	約1時間30分	唐津駅
福岡空港	高速バス	約2時間	唐津大手口 バスセンター
	車 (都市高速・西九州自動車道)	約1時間10分	唐津市内

※ 所要時間はおおよその目安です

SAGA Energy Tourism

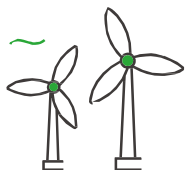
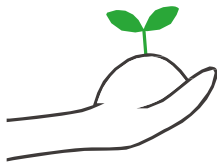
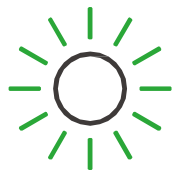
佐賀県は国内で初めて「エナジーツーリズム」をスタートします！

エネルギーは国民生活の基盤であり、全ての人にとって生活に直結する事からです。また、地球の温暖化や昨今の世界的な社会情勢等により、エネルギーへの関心が高まっています。

佐賀県は、江戸時代からエネルギーとともに歩んできた長い歴史があり、エネルギーに関連する施設が数多く点在しており、それらも観光資源のひとつと言えます。

そこで佐賀県は、“エネルギーを学び” ながら “旅を楽しむ” という「佐賀エナジーツーリズム」を国内で初めてスタートさせます。

みなさまが、エネルギーの未来を考えるきっかけとなり、佐賀県の自然や歴史、景観、体験、名物などを楽しんでもらう “新しい旅のカたち” を提案していきます。



本誌は2024年2月までの情報を基に作成しております。また、本誌の掲載情報はあくまで参考の情報として活用いただき、本誌の情報をういたことにより生じるいかなる損失・損害に対しては、一切の責任を負いかねますことをご了承ください。

SAGA Energy Tourism

一般社団法人佐賀エナジーツーリズム推進協議会

〒847-0303
佐賀県唐津市呼子町呼子 3646 -6

TEL 0955-82-2811 (NPO法人唐津・玄海観光交流社内)
MAIL contact@saga-et.com
HP <https://saga-et.com/>